

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ビジョン

Joy for Life[®]一食で未来によるこびを[®]の実現に向け、ステークホルダーや社会、環境の「Joy」を「おいしさデザイン[®]」で創出

女性管理職比率
20%

2 中長期の経営戦略

1. 成長戦略

「おいしさ×健康×低負荷」を掲げ、高付加価値品の拡販に注力。家庭用ではスマートグリーンパック[®]やダブルハーフ、業務用ではSOLUTION型製品を展開。海外ではASEANと北米重視

2. 構造改革

不採算事業（家庭用マーガリン等）からの撤退で利益体質改善を実現。DX推進として業務プロセス改善、SCM改革、スマートファクトリー、AIプラットフォーム導入を推進

3. 経営基盤強化

人財ポリシーに基づく成長機会提供とエンゲージメント向上。CO2削減、プラスチック廃棄ゼロ、DE&I施策を継続。健康経営優良法人認定獲得

3 対処すべき課題

① 事業環境の厳しさ

- ・ 物流費・エネルギー・原材料費高騰への対応
- ・ 円安継続とオリーブオイル価格高騰の影響
- ・ 気候変動リスクと少子高齢化への対応

② 成長への転換

- ・ 構造改革の成果を踏まえ復活から成長ヘシフト
- ・ 2025年度を重要な転換期と位置づけ

③ 次世代事業の開発

- ・ 国産SAF活用による脱炭素への挑戦
- ・ 海外売上比率の引き上げを目指す

面接で使えるポイント

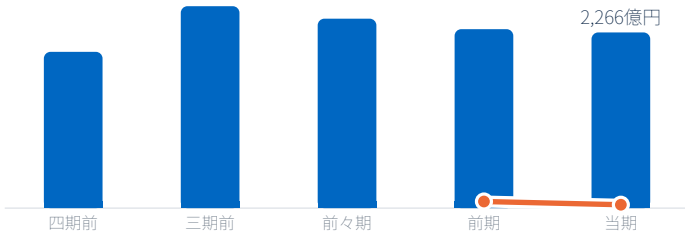
- ・ 「おいしさ×健康×低負荷」の企業理念のもと、スマートグリーンパック[®]やダブルハーフなど環境配慮型製品で差別化を実現してい…
- ・ 2025年度を転換期と位置づけ、成長戦略・構造改革・経営基盤強化の3柱で課題対応を進める経営姿勢
- ・ ASEAN・北米重視の海外展開と国産SAF活用による脱炭素事業で、将来を見据えた事業革新に取り組む点

株式会社Ｊーオイルミルズ

食料品 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 2613

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,266億円

営業利益率
1.9%

財務健康度
51点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 60.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
840万円

食料品内 21位/120社

平均年齢
44.0歳

食料品内 17位/121社

平均勤続
18.0年

食料品内 17位/121社

女性管理職
9.2%

食料品内 64位/106社

男性育休
103.7%

食料品内 6位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

要するに

植物油脂の製造販売を中心事業とする食品企業

主力事業・セグメント

- ・ Oil・Fats 91.6%
- ・ Speciality食品 8.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 連結売上高2,266億円の事業規模
- ・ 平均勤続18.0年と定着率が高い
- ・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

